

# 戸田市保健対策推進協議会

## -スマートウェルネスシティ推進プラン※案-



2023年11月29日(水)  
つくばウェルネスリサーチ

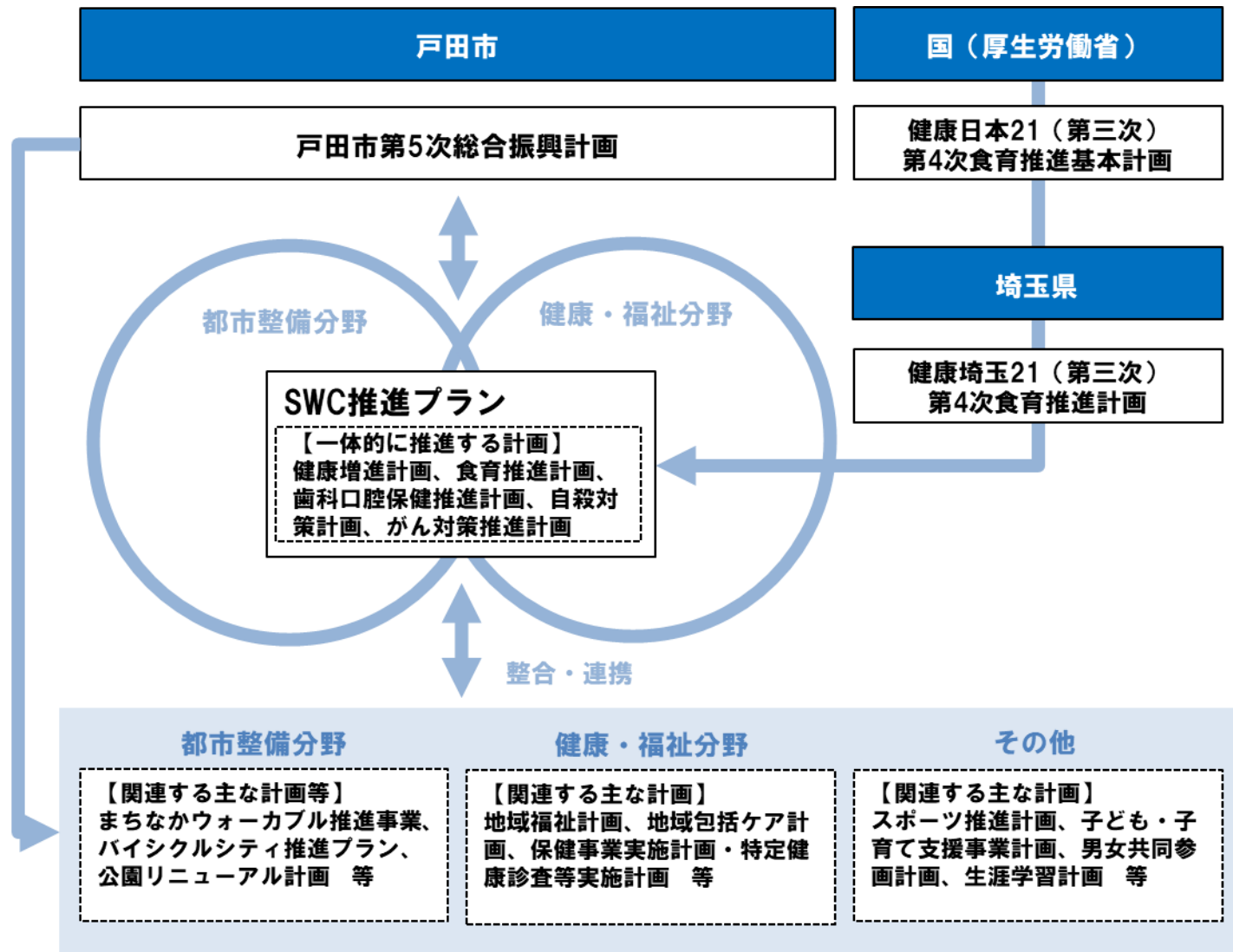
# スマートウェルネスを推進するまちのイメージ



スマートウェルネスを推進するまちでは、電車やバス等の公共交通が整備され、歩行者と自動車・自転車は互いに安全に通行できるように空間設計されており、緑があふれ、飲食店等の商業施設も充実しています。そのまちで生活する市民は、まちなかで集い、子どもからシニアまで多世代と交流し、自然にまちを歩くことで、生きがいを感じ、健やかで豊かな生活を送ることができます。

**まちなかを自然に歩きたくなることで、  
多世代の集いと交流が生まれ、生きがいを  
感じながら健幸に暮らすことのできる  
まちづくり**

# 都市整備分野と健康・福祉分野を一体的に推進する計画



# 国の方向性をふまえた健康なまちづくりの推進（国土交通省）

## 《主な知見》

- ・健康に対する意識の高い人は、そうでない人と比べて、1日の平均歩行数が多い
- ・1日8千歩を達成している人は、運動器の衰えや低体力化が低い傾向がある

- ・人とのコミュニケーションが多い人や地域での助け合い活動に参加している人は、1日あたりの平均歩行数が多い
- ・友人・仲間がたくさんいる高齢者や自主的な活動に参加したことがある高齢者は、生きがいを感じる人の割合が高い

- ・交流施設が「徒歩圏域」に多くある地区の高齢者は地域活動やサークル等への参加率が高く、外出頻度が高い
- ・公園が「徒歩圏域」にある高齢者は運動頻度が高い

- ・高齢者が「徒歩」で外出するために必要な要因として「沿道景観」「休憩施設」が重視されている
- ・高齢者は歩行経路の決定に当たり「道路横断の安全性」「歩道の凹凸、段差」を重視している

- ・鉄道駅から1.5km圏外で免許を保有していない人は、免許を保有している人と比べて外出率が低い
- ・高齢者は居住地がバス停までの距離が離れる毎に、外出行動が自立しなくなる傾向がある

## 《5つの取り組み》

① 住民の健康意識を高め、運動習慣を身につける

- ・社会環境の改善を通じた市民意識等の向上

② コミュニティ活動への参加を高め、地域を支えるコミュニティ活動の活性化を図る

- ・高齢者のコミュニティ活動への参加等生きがいの創出、多様な主体の連携、コミュニティ活動の拠点づくり、コミュニティビジネスの活用

③ 日常生活圏域・徒歩圏域に都市機能を計画的に確保する

- ・計画的に確保することが望ましい都市機能と機能確保の考え方、都市機能を計画的に確保する際の方策

④ 街歩きを促す歩行空間を形成する

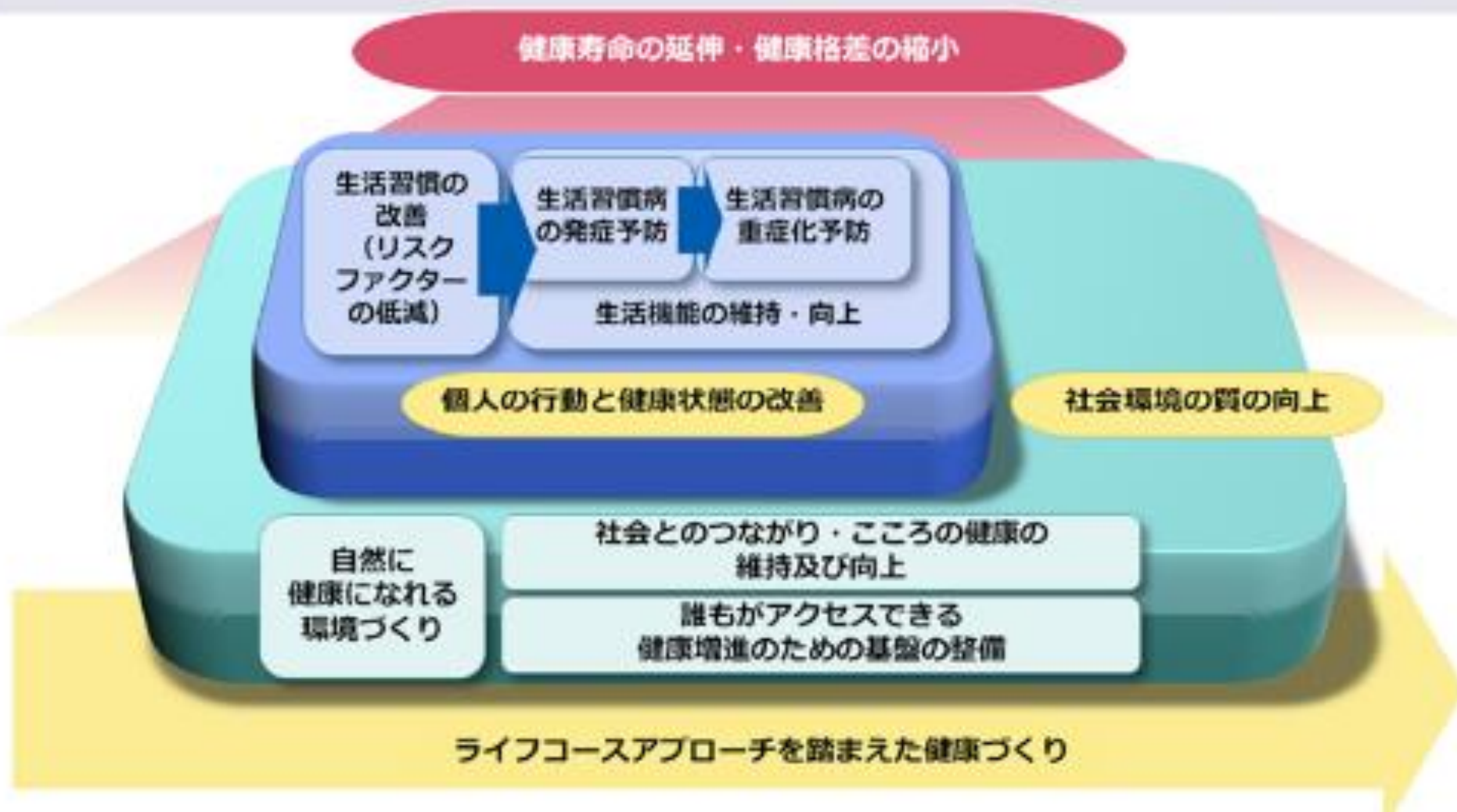
- ・歩行ネットワークの構築、世代を超えて利用される歩行空間づくり、歩行をサポートするモビリティ等の活用、歩行を促す仕掛けづくり

⑤ 公共交通の利用環境を高める

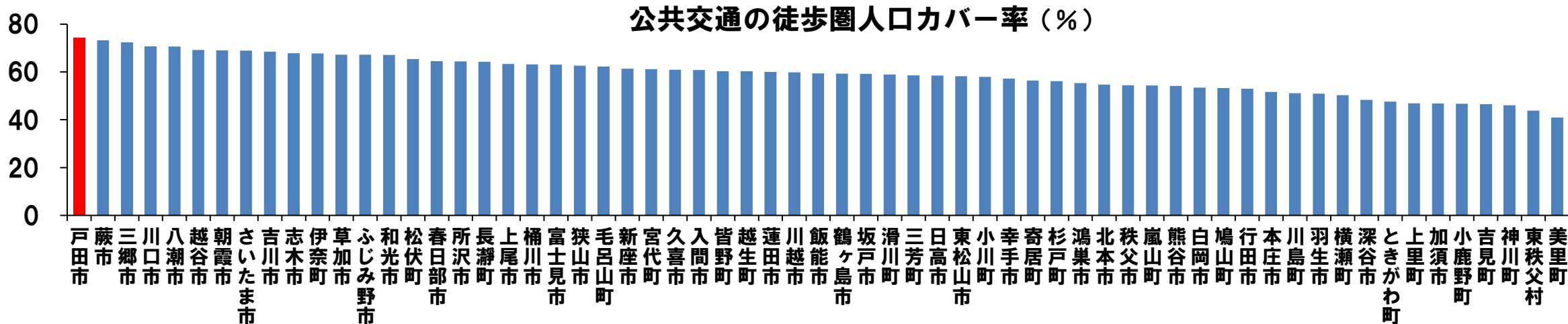
- ・公共交通のサービス水準の向上、地域のコミュニティ等が主体となった交通サービスの提供、公共交通の待合空間等の整備

# 国の方向性をふまえた健康なまちづくりの推進（厚生労働省）

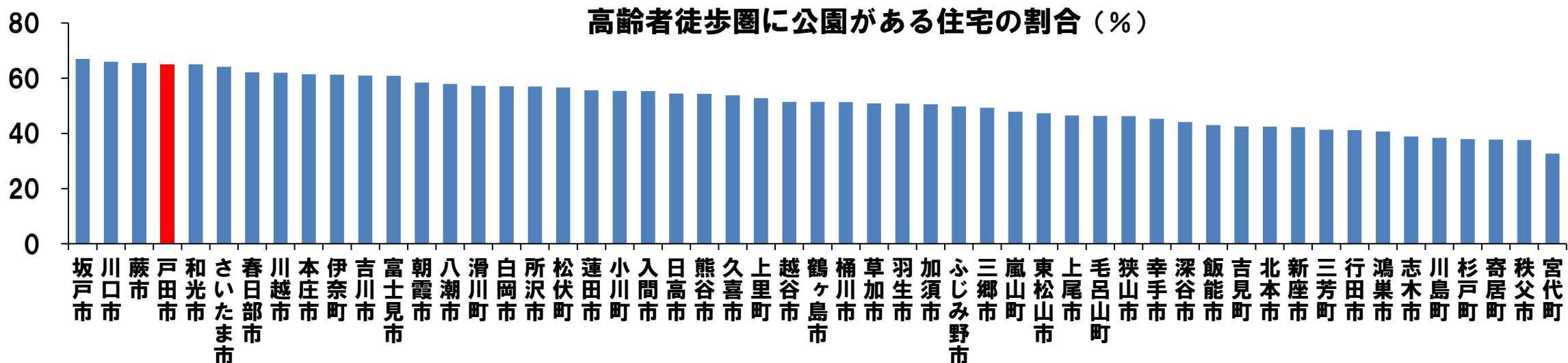
全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



# 戸田市は公共交通にアクセスしやすく公園が多い

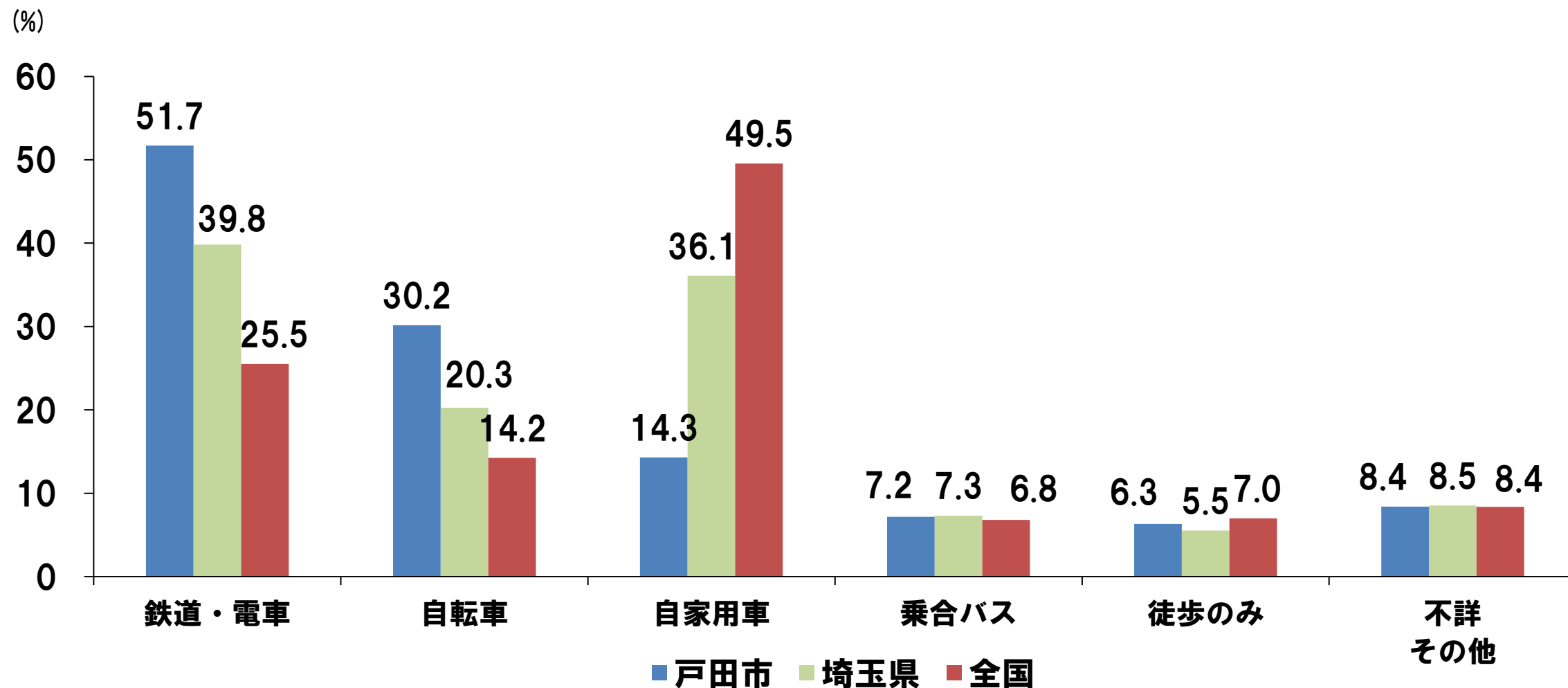


※「都市モニタリングシート全体表(国土交通省)」※ 鉄道駅から800m圏、又は、バス停留所から300m圏内の人口÷市町村人口



※「平成30年 住宅・土地統計調査(総務省統計局)」※最寄りの公園までの距離500m未満の世帯数÷総世帯数

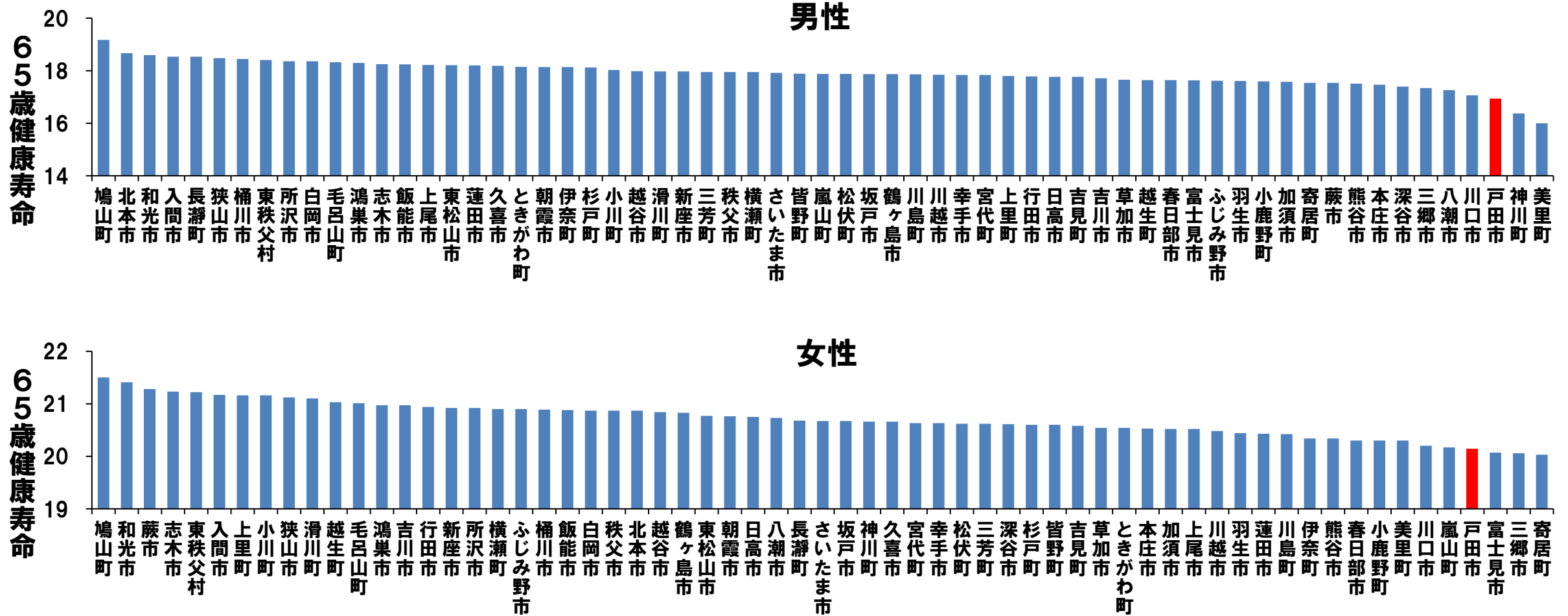
# 戸田市は鉄道・電車及び自転車を利用する人が多い



(出典)「令和2年度 国勢調査(総務省)」を参照しつくばウェルネスリサーチ作図(2023)



# 埼玉県自治体の65歳健康寿命



※「統計からみた埼玉県市町村のすがた 2023 ※2020年 県衛生研究所資料(埼玉県)」を参照しつくばウエルネスリサーチ作図

# 市の特徴をふまえ6つの柱をたて取り組みを進める

No	市の特徴 等	目指す姿	健康×施策・事業の取り組み
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通にアクセスしやすいまち</li> <li>● 日常で自転車利用をする人が多いまち</li> </ul>	<p><b>「まちなかウォークラブルとバイシクルシティの推進」</b>  まちなかに、ストレスなく行くことのできる空間、歩きたくなる空間をつくり、あらたな賑わいの場を創出し、歩行や運動の習慣化と外出機会の増加を促すことで、市民の健康寿命延伸を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康×まちなかウォークラブルの推進</li> <li>● 健康×バイシクルシティの推進</li> </ul>
II	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動習慣の無い人の割合が約6割</li> <li>● 身近に公園があるまち</li> </ul>	<p><b>「市民が自ら健康に取り組む環境整備」</b>  市民が自ら健康に取り組む意識を高められる環境の整備を進め、健康づくりに取り組む人が多いまちを目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康×インセンティブ</li> <li>● 健康×公園利活用</li> </ul>
III	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康づくりに関心の低い層が約7割</li> <li>● 健康寿命が県平均よりも短い</li> <li>● 主な死因は生活習慣病の割合が多い</li> </ul>	<p><b>「市民協働による健康リテラシーの向上」</b>  市民の健康リテラシーの向上に向けた取り組みを進め、自主的な健康へのアプローチを促すことにより生活習慣病の予防等を通じて健康寿命の延伸を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康×口コミ</li> <li>● 健康×イベント</li> <li>● 健康×健康データの利活用</li> </ul>
IV	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 20～40歳代の女性の運動習慣が少ない</li> <li>● 3世代世帯の割合が減少している</li> </ul>	<p><b>「次世代に向けた女性の健幸と子育てに優しいまちづくり」</b>  若年層女性・子育て世代をターゲットとした健康づくりの取り組みを検討し、次世代の健康づくりを進めるまちを目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康×若年層女性・子育て世代</li> <li>● 健康×つながり</li> </ul>
V	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1人暮らしのシニアが増加している</li> <li>● 豊富な生涯学習のメニューがある</li> <li>● 70歳代になると外出頻度が低下する</li> </ul>	<p><b>「いくつになっても生きがいを持ち外出できる環境整備」</b>  外出頻度が少なくなるシニア世代（特に70歳代以降）が外出したくなる環境の整備を進め、シニアが生き生きと活躍するまちを目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康×通いの場</li> <li>● 健康×生涯学習</li> <li>● 健康×社会参加</li> </ul>
VI	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの運動習慣定着の取り組みを進めている</li> <li>● 3世代世帯の割合が減少している</li> </ul>	<p><b>「多世代交流を促進する健康なまちづくり」</b>  子どもからシニアまで多世代の交流を通じて、健康づくりの普及促進を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康×運動・スポーツ</li> <li>● 健康×多世代の交流</li> </ul>

## 健康×施策・事業

歩きやすい  
「まちなか」の整備

戸田市は「自転車」利用  
の人が多いまち

戸田市は「公園」  
の多いまち

戸田市は「公共交通」へ  
のアクセスがよいまち

公園を活用した  
「イベント」による賑わ  
いの創出

人が集い・憩う  
「駅前空間」の整備

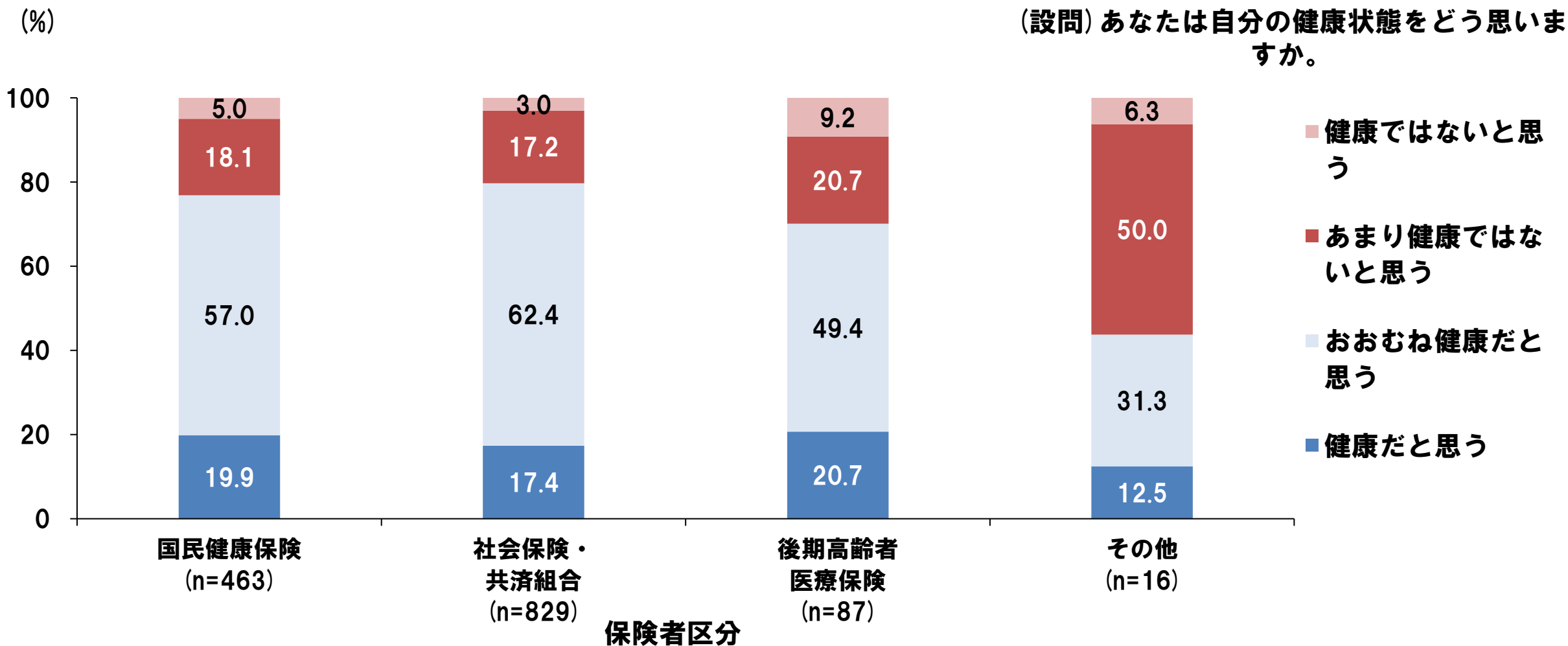
身近な「通いの場」での  
介護予防

多種多様な  
「生涯学習」講座

シニアの  
「社会参加・外出」の促  
進

# 《9月13日 前回会議をふまえた分析・資料 等》

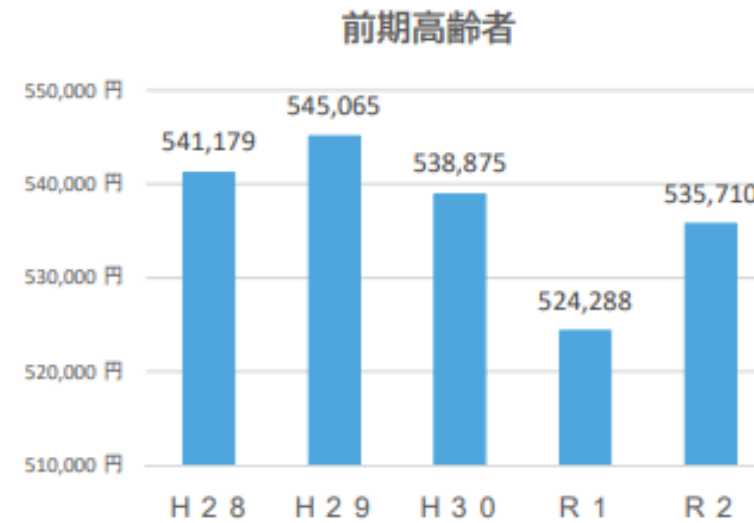
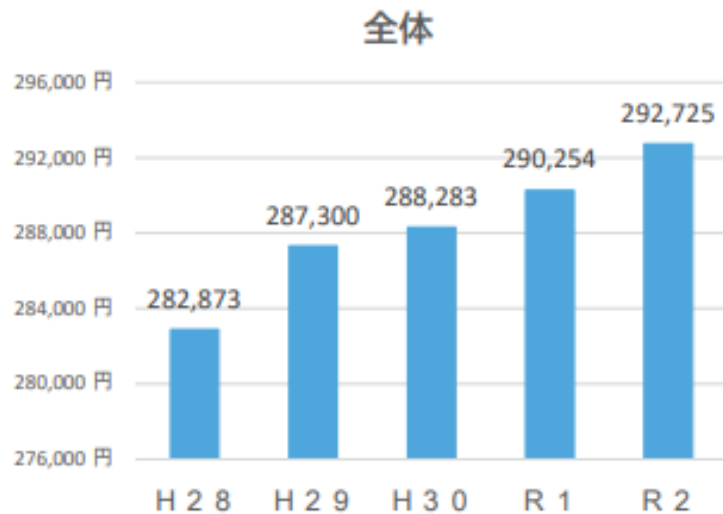
# 主観的健康度の割合（保険者別）



※ 「令和4年度戸田市健康づくりに関する市民アンケート（戸田市）」を参照しつくばウェルネスリサーチ作図

# 全体及び前期高齢者の1人あたり医療費の推移

## 1人あたり医療費

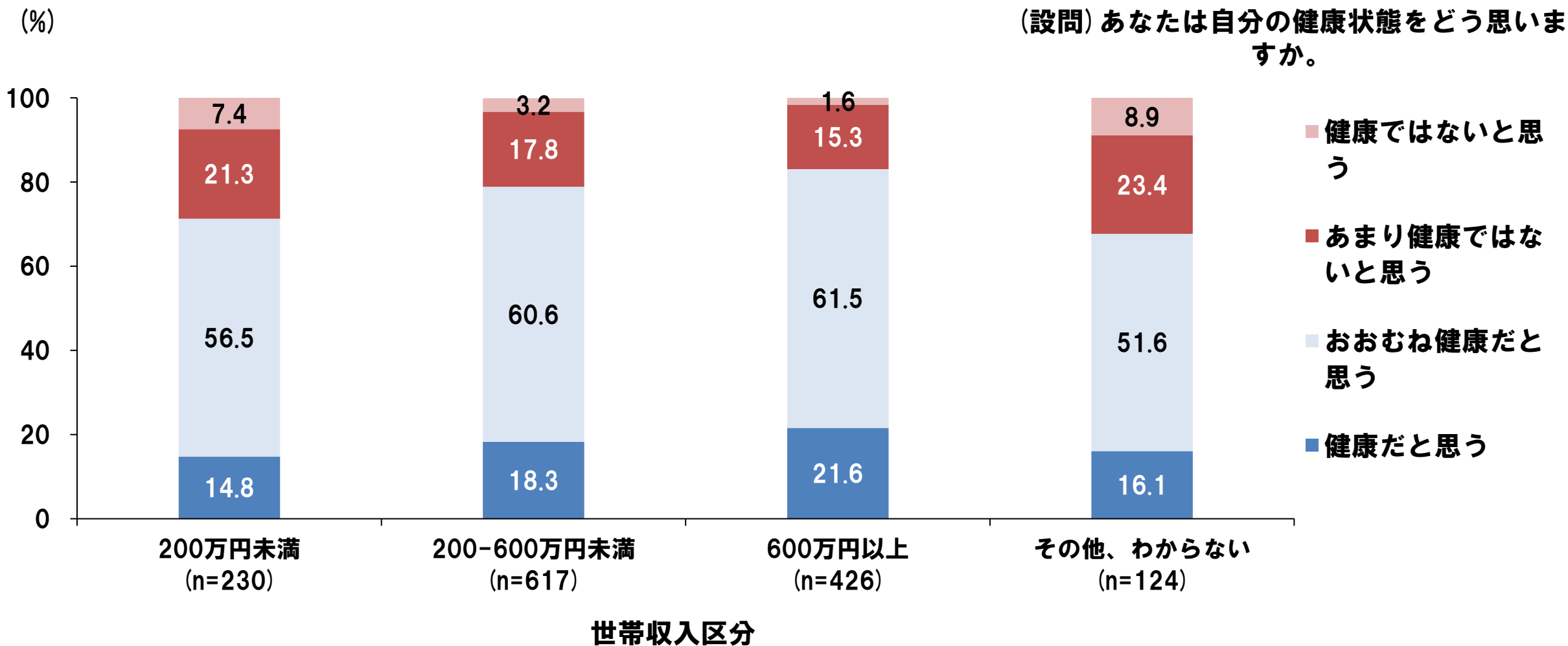


出典：国民健康保険事業状況

- 全年齢における一人あたり医療費は増加傾向にあるが、県内他市町村と比べて低い。(令和2年度：県内62位/全63市町村中 県内市町村平均額 336,580円)
- 前期高齢者の一人あたり医療費は計画策定当時と変わらず、県内最高額である。(令和2年度：県内市町村平均額 472,816円)

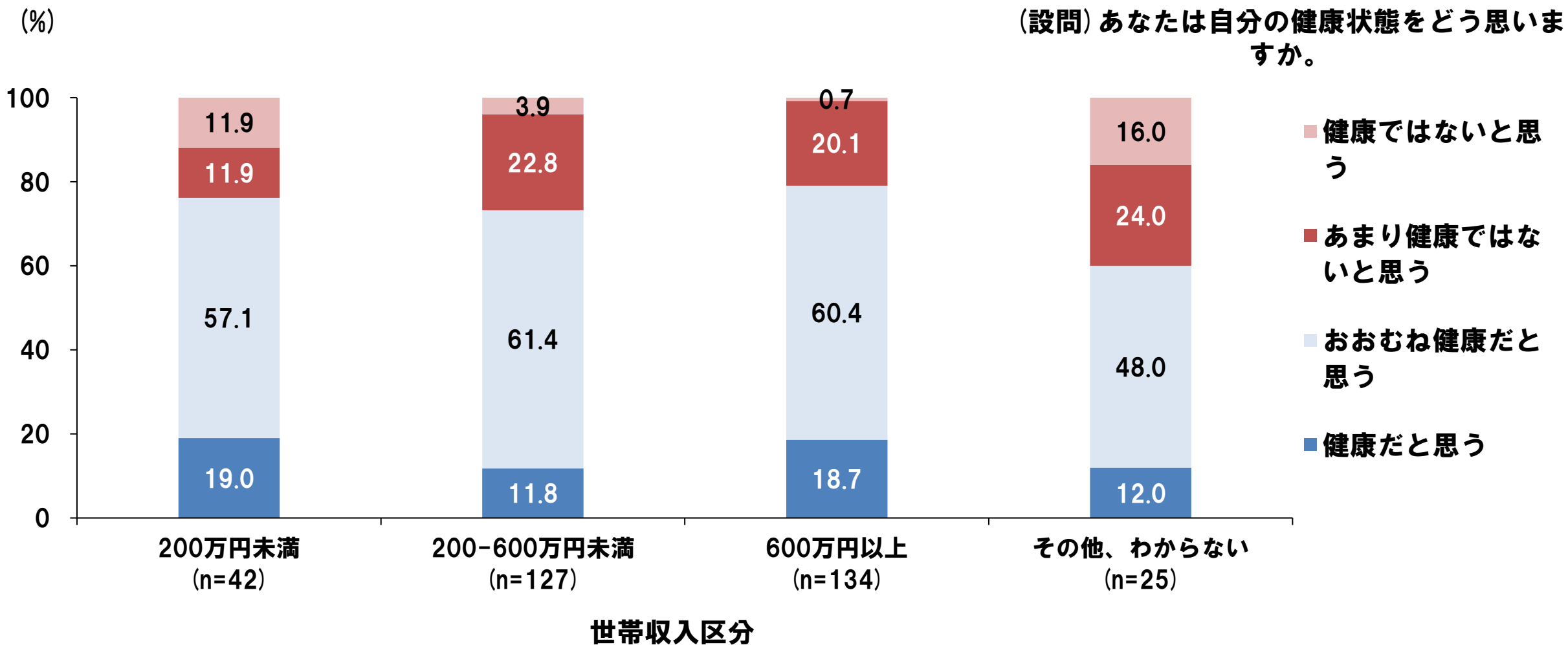
(出典) 第2期戸田市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)中間評価報告書

# 主観的健康度の割合（世帯収入別）



※「令和4年度戸田市健康づくりに関する市民アンケート（戸田市）」を参照しつくばウェルネスリサーチ作図

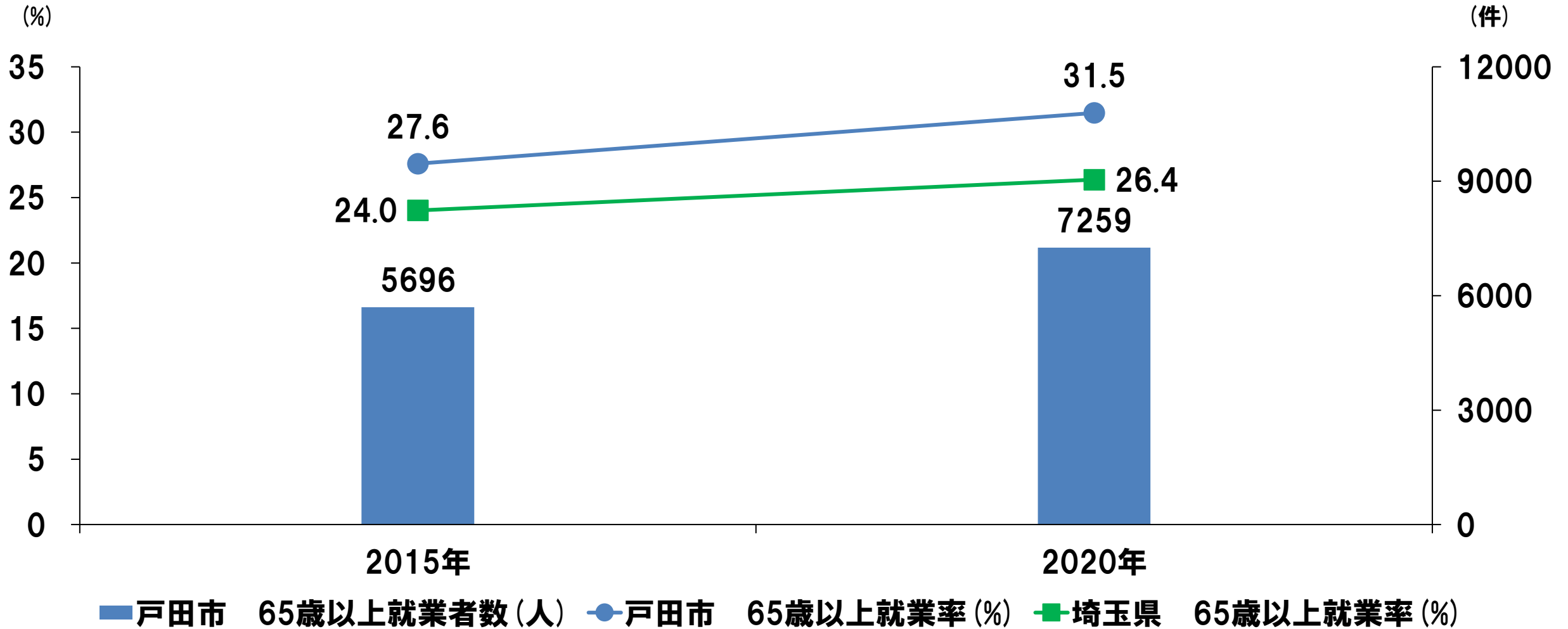
# 主観的健康度の割合（世帯収入別）※50歳代のみ



※「令和4年度戸田市健康づくりに関する市民アンケート(戸田市)」を参照しつくばウェルネスリサーチ作図



# 65歳以上就業率と就業者数の推移



(出典) 「国政調査(総務省)」を参照しつくばウェルネスリサーチ作図(2023)

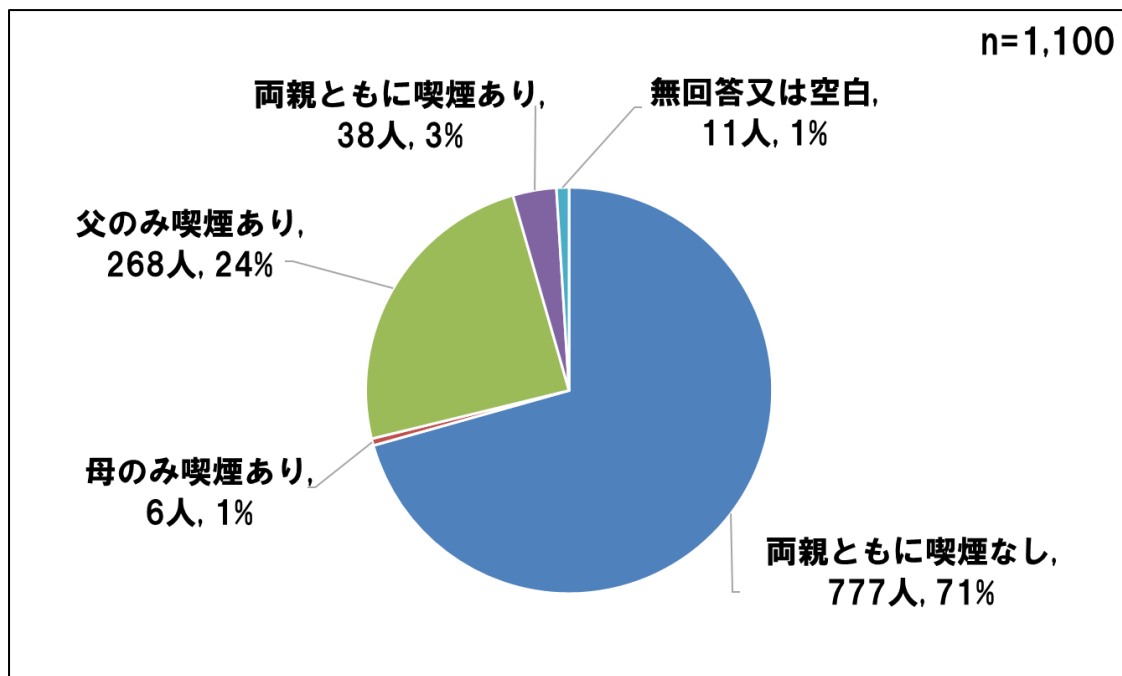
# 妊娠中の喫煙等

## 妊娠中の喫煙

対象年度	対象(人)	あり(人)	割合
H29	1,434	31	2.2%
R2	1,329	19	1.4%
R4	1,098	21	1.9%

出典「4か月児健診質問票(戸田市)」

## 乳幼児健診時の親の喫煙状況



出典「令和4年度 4か月児健診質問票(戸田市)」

# いくつになっても生きがいを持ち外出できる環境整備

市の  
特徴

1人暮らしのシニア  
が増加している

豊富な生涯学習の  
メニューがある

70歳代になると  
外出頻度が低下する

目指  
す姿

外出頻度が少なくなるシニア世代（特に70歳代以降）  
が外出したくなる環境の整備を進め、シニアが生き生き  
と活躍するまちを目指す

取り  
組み

健康×通いの場

健康×生涯学習

健康×  
社会参加



【大学連携講座】

青山学院大学、埼玉大学等と連携した講座を実施しています。各大学の最先端の研究成果に触れることができる講座です。

【子育て講演会・人権講演会】

子育て世代の悩み解消法や、家庭教育に必要な視点を学ぶ講座です。



「青山学院大学連携講座」



「埼玉大学連携講座」



「食でカラダ革命」



「即かない子育て」

【とだ学】

地域資源を見学し、その魅力や地域の特徴を知る講座です。

【市民企画講座】

市民のみなさんが企画した講座を実施しています。



「戸田市の教育を知ろう！」  
(戸田東小・中学校の見学)



「身近に学ぶSDGs」



「家族で取り組む産後ケア」



「戸田市内の専門医に聞く～  
みんなで正しく知ろう乳がん  
のこと～」